

過去15年のデフレで、名目GDPは37.7兆円縮小
 その間、建設投資も35.9兆円縮小.

つまり過去15年の名目GDPの縮小の大半は建設投資の縮小によるものだった！

	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成7,8,9年度平均	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成22,23,24年度平均
GDP(名目)	504.6	515.9	521.3	513.9	480.2	473.9	474.5	476.2
建設投資 総額	79.0	82.8	75.2	79.0	41.9	43.3	44.2	43.1
建設投資 公共	35.2	34.6	33.0	34.2	18.0	18.6	18.7	18.4
建設投資 民間	43.8	48.2	42.2	44.8	23.9	24.7	25.5	24.7

(単位:兆円)

マイナス37.7兆円

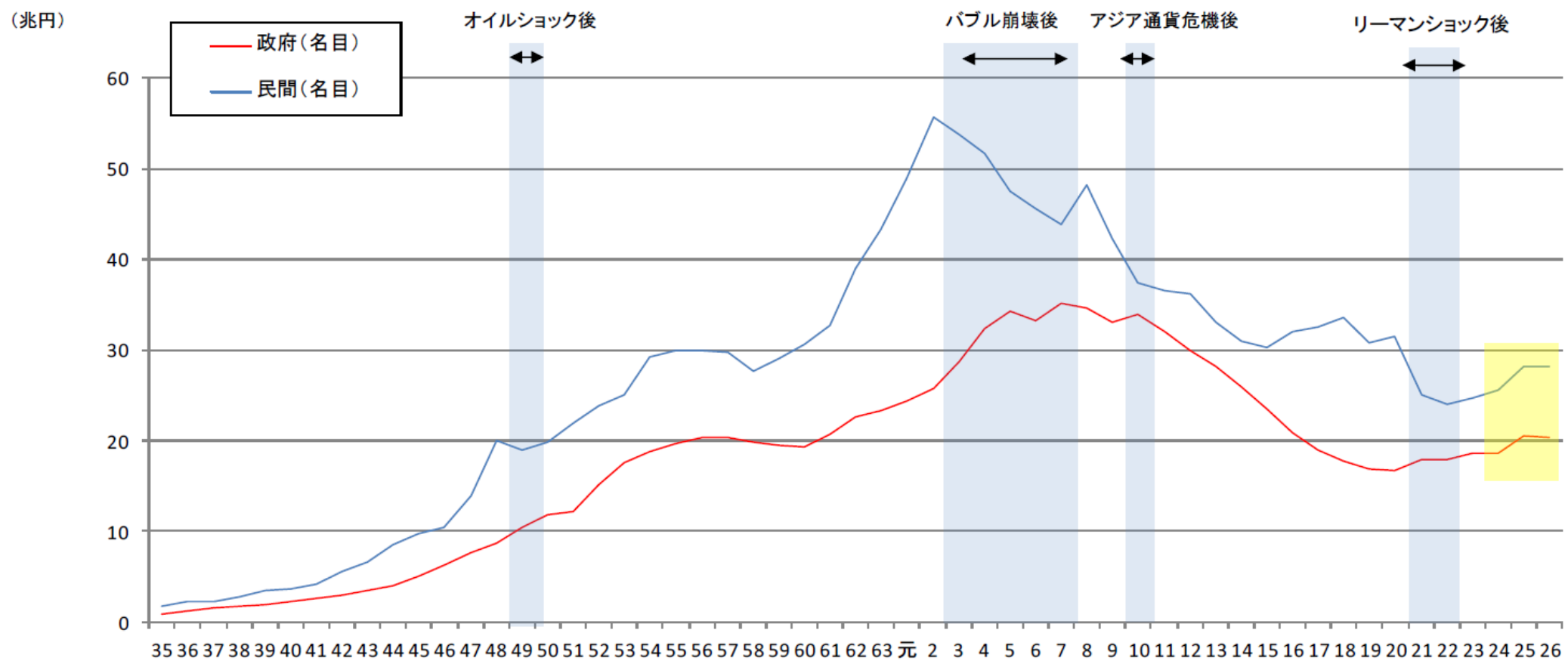
マイナス35.9兆円

(平成24年建設投資は見込み)

【出典】GDP:内閣府「平成25年度国民経済計算確報」(14.12.18)、建設投資:国土交通省「平成26年度建設投資見通しの公表について 昭和32年度からの推移」(14.6.27)

建設投資は「政府」が増えると「民間」も増え、逆もまた然り。つまり...

- ①政府投資が民間投資を刺激し、
政府投資の冷え込みが民間投資を冷え込ませている可能性を示唆
- ②政府投資による民間投資の阻害(クラウディングアウト)は確認できない



※出所:国土交通省「平成26年度建設投資見通し」
※平成24年度及び平成25年度分は見込額。平成26年度分は出来高ベースの投資額を推計したもの。